

記者発表資料
平成17年7月22日
公立大学法人横浜市立大学
福浦キャンパス担当課長
山本文雄
電話(787)2501

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

医学部教育が文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP) に選定されました！(文部科学省と同時発表)

本学のテーマ **医学部における実践的な医療安全教育**

本学取り組みの概要

本学医学部では患者の安全を最重視する医師を養成するために、医療安全教育コース「患者と医師」を導入しています。本コースは平成11年の患者取り違え事故に対する反省に基づき事故直後に導入され、教員と学生の意見や国の指針などを取り入れて改善を重ねてきたことが認められました。

取り組みの特性

- 1 コミュニケーション、倫理、安全教育の統合
(患者との意思疎通やチーム内連携に不可欠なコミュニケーション能力と生命や医療に関する基本的な倫理観を身につけるとともに、患者の安全を守る医療安全に関する知識や技術を繰り返し学ばせています。)
- 2 医学部教育内容の順次性を考慮した6年一貫コース
(医学教育の基軸を医療安全におき、これにコミュニケーション・生命倫理教育を有機的に結合させた6年一貫コース。)
- 3 医療現場に則した実践的な教育
(医療事故の根本原因の分析や医療事故のシナリオを用いたロールプレイを通じて体験的に対策等を考えさせるなど、現場の課題に則した内容を実践的に学ばせています。)

取組担当者 後藤英司 医学部教授(医学教育学) <連絡先 787-2626>

参考(補助金の目的)

「特色ある大学教育支援プログラム」は、大学教育の改善に資する種々の取組のうち、特色ある優れたものを選定し、選定された事例を広く社会に情報提供することで、今後の高等教育の改善に活用します。これにより、国公立大学を通じ、教育改善の取組について、各大学及び教員のインセンティブになるとともに、他大学の取組の参考になり、高等教育の活性化が促進されます。(文部科学省公募要領より抜粋)

本発表は、文部科学省の7月22日(15:00)の発表内容に基づきます。